

「大刀洗町公式 LINE アカウント機能拡張システム構築・運用保守業務」仕様書

1. 業務名

大刀洗町公式 LINE アカウント機能拡張システム構築・運用保守業務

2. 業務の目的

大刀洗町（以下「本町」という。）が運用する LINE 公式アカウント（以下「町 LINE」という。）を機能拡張システムの構築及び運用を図ることで、より効率的で効果的な情報配信を行うことができ、かつ利用者の利便性を向上させることを目的とする。

3. 履行期間

契約締結日から令和10年3月31日まで

- ・構築期間：契約締結日から令和8年1月11日まで
- ・運用期間：契約締結日から令和10年3月31日まで
- ・公開日：令和8年1月12日（月）

4. 履行場所

大刀洗町地域振興課（福岡県三井郡大刀洗町大字富多819番地）

5. 業務内容

本業務の内容は、以下の項目を一括して行うものとする。

（1）システム構築

- ・機能の拡張をもって、本町の情報発信を効率的で効果的に行えるよう本仕様書で示す機能を備えたシステムの構築を行う。
- ・本システムは、原則として、24時間365日利用可能であること。

（2）運用・保守

- ・導入後の運用保守については、システムの安定的な運用を図るため、ソフトウェア、設備・機器、セキュリティに関して定期的な保守を行うこと。また、システム障害の早期発見・予防に努め、システムに障害が発生した場合や、脆弱性が発見された場合等のトラブルが発生した際には、本町へ速やかに発生的事实を連絡するとともに、随時対応状況を報告し、速やかにトラブルの解消に対応すること。
- ・ソフトウェアのバージョンアップについては、その適用の判断に必要な調査評価を行い、本町と協議の上、提供及び適用作業を行うこと。

(3) 調査・相談対応

- ・本システムの構築・運用・保守の際には、新たな機能の提案や本町が想定する機能の影響調査などを行うこと。
- ・システムに関する本町からの問い合わせや相談への対応及び必要に応じた本町への情報提供を行うこと。なお、調査・問い合わせ・相談対応は、原則として、平日の午前8時30分から午後5時15分とし、本町職員（以下「管理者」という。）と、電話又はメールで対応すること。また、回答については、3営業日以内を基本とするが、緊急時や回答に時間を要する場合は、本町と協議の上で対応すること。
- ・本調達に係る費用は、新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型 TYPE1）の交付事業であるため、実績報告等に必要な資料作成について、協力・支援すること。

(4) 計画的なシステム停止

- ・受託者がシステムを停止する場合は、システム利用者への影響を考慮し、遅くともシステム停止の7日前までに本町と協議の上、決定すること。その際、システムの利用に支障がないよう代替手段を提示すること。ただし、緊急でやむを得ない場合はこの限りでない。

(5) 想定外のシステム停止

- ・計画的なシステム停止以外の要因によりシステムが停止した場合には、受託者は速やかに復旧又は代替手段を用意し、システムの安定的な運用に努めること。

(6) バージョンアップ対応

- ・本業務で導入するシステムに対して性能や品質の強化、新たな機能の追加など、バージョンアップが行われた場合や必要な場合は、契約の範囲内において対応すること。

(7) システムに求める基本要件

- ア 本システムを利用しようとする利用者及び本システムを利用する管理者双方にとって分かりやすく、操作性が高く、効率的な運用が可能なシステムであること。また、管理者が操作するにあたり、関数やスクリプト、プログラミングの知識が必要なく行えること。
- イ 運用開始後の機能向上や構成の変更等を柔軟に行えらるとともに、将来的なシステムの拡張性を確保したシステムとすること。
- ウ 「政府機関・地方公共団体等における業務での LINE 利用状況調査を踏まえた今後の LINE サービス等の利用の際の考え方（ガイドライン）」

(令和3年4月30日付け内閣官房他通知(令和3年6月11日一部改正))に準拠したシステムとすること。

6. 機能要件

本システムは、LINE ヤフー株式会社が提供する「LINE 公式アカウント」における「地方公共団体プラン」で利用できる機能を活用して、以下の(4)から(16)までを必須機能として構築し、基本料金内で(4)から(16)までの機能を利用できること。もし機能を有しない場合は、代替となる方策を説明すること。また、記載する仕様を満たした上で、提案金額内で他のサービスの構築が可能な場合は、積極的に提案すること。

(1) 基本要件

- ア 本町のLINE 公式アカウントと連携すること。
- イ 利用者は、スマートフォン用のiOS 版又はAndroid 版のLINE を使用し、本業務で提供するシステムを利用できること。
- ウ 本システムはオンプレミスではなく、クラウド型の提供システムであること。
- エ 本システムは、24時間365日利用可能であること。ただし、深夜の時間帯におけるバックアップ処理などシステム運用に最低限必要な時間の停止を除く。
- オ システム及びデータに対して自動でバックアップを行う機能を有すること。
- カ 本システムは、Google Chrome、Edge、Firefox 等のインターネットブラウザを使用し、インターネット環境に接続し利用できること。また、それぞれ最新のバージョンで動作すること。
- キ 本システムは、公式アカウントの機能が制限なく利用できる、もしくは同等の機能を提供できること。
- ク 本システムはLINE の最新バージョンでシステム要件を満たすこと。

(2) 利用者のシステム利用環境

- ア 本システムを利用可能なiOS、Android、LINE のバージョンは限定しないものとし、最新バージョンについては、最新バージョンがリリースされた後に可能な限り速やかに対応すること。
- イ 属性情報を取得する際は、セキュリティの観点から、LINE ヤフー株式会社のサーバーに残らないようフォーム形式にて取得すること。

(3) 管理者のシステム利用環境

- ア 管理者用の管理機能は、パソコンのブラウザで利用できること。
- イ 本町で使用している仮想ブラウザ（SBC 方式：Google Chrome）から利用可能で、専用ソフトウェアのインストールが不要であること。
- ウ OS 及びブラウザは、それぞれ最新バージョンでの利用を前提とする。ただし、新バージョンがリリースされた後にそのバージョンに起因する不具合が確認された場合はこの限りでない。なお、OS の最新バージョンについては、最新バージョンがリリースされた後に可能な限り速やかに対応すること。
- エ Google reCAPTCHA にて不審な動作を判断しログイン制限ができること。
- オ 2段階認証設定が可能であること。

(4) リッチメニュー

- ア トーク画面に画像付きのメニューをタブ形式などにより表示させることができること。
- イ 分割数に制限がなく、座標指定による自由な領域設定ができること。
- ウ 指定の URL 等にリンクする設定ができること。また、この設定を任意に変更できること。
- エ 通常メニューとは別に、友だちのセグメントに応じた専用メニューを複数表示できること。
- オ 通常の住民メニューとは別に、対象者に応じた専用メニューを複数表示できること。
- カ 初回情報登録フォーム等で回答した内容に合わせたリッチメニューを表示させることができること。
- キ 本システム管理画面にて、リッチメニューのデザイン作成及び変更または、修正が管理者でも行える仕様であること。
- ク メニューの切り分けは、機能上無制限であること。
- ケ タブ形式により、3タブ以上にリッチメニューの切り替えが可能であること。
- コ 利用者のセグメント毎に一括でメニューの切り替えができること。
- サ 利用者のセグメント毎にメニュー内のコンテンツの表示や非表示の変更ができること。
- シ メニュー切り替え用の二次元コード及び URL を作成できること。
- ス 災害時などの緊急時には、防災関連の情報が配信されるメニューを管理者側で表示できること。

(5) セグメント配信機能

- ア フォームやアンケート機能などで取得した項目に基づき、配信対象者を絞り込み、利用者の嗜好に合わせた最適な情報を配信「セグメント配信」ができること。なお、登録内容については、利用者自らが確認、変更及び削除することができること。また、登録する項目は、管理者が本システムを使用し、任意のタイミングで変更及び削除することができること。
- イ 上記アで登録された情報に基づき、メッセージ配信先の指定が行えること。
- ウ アンケートなどで回収した利用者情報が配信メッセージ内で反映可能なこと。
- エ 配信対象者の絞り込みは or 条件や and 条件などを掛け合わせた絞り込みができること。
- オ 利用者の属性情報を一括及びセグメント毎に csv 一括登録できること。
- カ アンケート未回答者を含む友だち全員への配信が可能であること。
- キ 作成したメッセージは配信する前に、本システム管理画面よりプレビュー表示にて確認できること。
- ク 配信毎にユーザー側から見てアイコン画像と名前の変更ができること。
- ケ 日時を指定してセグメント配信ができること。また、一定周期で繰り返すセグメント配信設定ができること。
- コ 日単位、週単位、月単位で定期配信日を指定できること。また、定期配信の除外日を設定できること。
- サ セグメントの絞り込み方法として、アカウントへの友だち登録を行なった日付での絞り込みが可能であること。また、期間を指定した絞り込みも可能であること。
- シ よく使う絞り込み条件をテンプレート検索として保存し、セグメント配信時にテンプレートの選択を行うだけで配信対象者の絞り込みが可能であること。
- ス 送信可能なメッセージタイプとして、「テキストメッセージ (LINE 絵文字を含む)」「画像メッセージ」「イメージマップメッセージ」「Flex Message」を設定できること。また、「Flex Message」の作成には、関数やスクリプト、プログラミング等を必要としないこと。
- セ 管理者が、過去の合計配信数、配信日、配信時間、タイトル、種別、配信数、成功数、失敗数、開封率、URL クリック数などのデータについて確認が行えること。

(6) アンケート機能

- ア 管理者の任意のタイミングでアンケートフォームの作成・修正・配信ができること。

- イ アンケートフォーム作成の際は、管理者が容易に設定できるよう工夫されていること。
- ウ アンケートフォームのデザイン（ボタンカラー／背景カラー／フォーム背景カラー）は管理者でも自由に変更ができること。
- エ アンケートフォームは、設問項目を自由に設定でき、項目数も上限なく設定できること。
- オ アンケートへの回答は、テキスト、数値、チェックボックス（複数選択）、ラジオボタン（択一選択）、プルダウン選択、日付入力、郵便番号、メールアドレスなど、多彩な形式で作成できること。
- カ 友だち登録した利用者の住んでいる地域（地区）や年代、性別、配信希望のカテゴリの有無などを選択できるフォーム機能を有すること。
- キ 登録情報は、利用者が随時変更できる仕組みとすること。
- ク 利用者の回答に応じて、次ページをセクション毎に分ける事が可能であること。
- ケ 利用者がアンケート回答後、自動的にリッチメニューを切り替えることや、リマインドが通知するなどのアクション設定が行えること。
- コ 複数のアンケートフォームを同時運用できること。
- サ アンケートの回答内容は、CSV 等で一括ダウンロードが可能であること。
- シ アンケートフォームの編集画面では、LINE 上での表示イメージを随時、確認しながら作成が行えるプレビュー機能を備えていること。また、プレビュー画面では、利用者視点での操作が行えること。
- ス アンケートフォーム回答への回数制限を自由に設定できること。

(7) チャットボット機能

- ア 利用者からの問い合わせに対し、ボタン等を用いて入力の手間なく必要な情報を自動応答できること。
- イ ボタン等のタップにより事前構築済みのシナリオが起動し、利用者に情報を提示すること。
- ウ 自動応答のシナリオは、管理者が任意のタイミングで、作成、変更、削除を随時行えること。
- エ 作成可能数及びシナリオの階層数に制限がないこと。
- オ チャットボット起動中にエラーが起きないこと。
- カ チャットボットの選択回数の制限ができ、属性情報に合わせた選択制限も可能であること。
- キ 本システムを提供する事業者へ特別な依頼を必要とせず、管理者が、テキストや画像などレイアウトを自由にカスタマイズできる LINE Messaging API で提供される「Flex Message」形式のメッセージを配信できること。

また、「Flex Message」の作成にはプログラミングやコード等を使用しないこと。

ク シナリオは本町が素案を提供し、受託者において初期データを作成すること。

(8) 通報機能

ア 利用者が写真や日時、位置情報等を送信して、公共施設の不具合等の本町の問題について通報できること。

イ 情報管理の観点より、報告内容はLINEのトーク上では無く、フォーム内で完結できること。

ウ 管理者が任意のタイミングで各種申請フォームを作成・修正できること。

エ 通報シナリオは、写真や日時、位置情報、テキストなどを自由に組み合わせて作成できること。

オ 利用者が送信した通報を受信する際、設定した通報カテゴリーごとに、担当部署を割り当てることができ、それぞれ通知先のメールアドレスを設定できること。ただし、担当部署まで割り当てることが困難な場合は、町LINEの総合管理者のみでの通知も可能とする。

カ 通報受付時に、利用者に対して通報完了メッセージの自動配信ができること。

キ 申請フォームで回答した内容を、ユーザー情報として反映できること。

ク 通報された情報は、CSV等で一括ダウンロードが可能であること。

(9) 通知機能

ア 利用者が友だち登録や各種機能を利用した際に、管理者のメールアドレスなどに通知する機能を有していること。

イ 管理者複数人を対象としたLINEグループへ通知が行えること。

(10) 予約機能

ア 利用者から、検診や面談などの予約を受け付け、管理ができること。

イ 管理者が、入力項目を自由に組み合わせることができ、電話番号やメールアドレスなどは入力値のチェックが可能な機能を有していること。

ウ LINEを経由せず、電話やメールなどの別の手段で受け付けた予約についても、職員が管理画面から個別に内容登録ができること。

エ 利用者に対して予約内容をリマインドするメッセージの自動配信ができること。また、発信される日時を任意で設定できること。

オ 予約が完了すると、予約内容をトークで通知できること。また、通知されるメッセージを自由に設定できること。

カ カレンダー形式で予約可能日を週間と月間形式のどちらでも表示できる

こと。

- キ 利用者自らが予約情報の変更やキャンセルが可能な機能を有していること。
- ク 管理者は管理画面から新規予約の作成ができること。また、管理者画面はカレンダー表示を可能とし、視覚的に予約者情報を確認できること。
- ケ 予約時に入力した情報を配信メッセージ内で反映が可能なこと。
- コ 予約機能で回答のあった属性情報は、セグメント配信機能でも流用可能なこと。
- サ 承認制での予約受付が可能なこと。
- シ 予約状況は管理画面から確認ができ、CSV形式等のファイルでの出力が可能なこと。

(1 1) 二次元コード複数発行機能

- ア 流入経路毎に二次元コードを無制限に発行できること。
- イ 発行した二次元コードを利用者が読み取ることで、二次元コード毎に、流入経路が判別出来ること。
- ウ 発行した二次元コード毎に利用者に対するメッセージ送信内容や、リッチメニューの表示内容を設定できること。
- エ 発行した二次元コード毎に読み込み開始・終了の日付・時間設定が可能なこと。

(1 2) スタンプラリー機能

- ア 二次元コードを読み込み、LINE内で台紙を模したスタンプが貯められること。また、取得したスタンプはいつでも利用者が確認できること。
- イ スポットごとに異なる二次元コードの発行・挙動設定が可能なこと。
- ウ 発行した二次元コードは読み込み回数制限の設定が可能なこと。
- エ 獲得したスタンプ数に応じた挙動設定が可能なこと。
- オ スタンプラリー完了時に景品応募やクーポンが獲得できること。また、スタンプラリーの途中でも応募できるよう、応募条件を複数設定できること。
- カ スタンプラリーの実施期限を任意に設定できること。
- キ それぞれの二次元コードの読み込み履歴が取得できること。また、履歴を活用した分析が可能であること。
- ク 参加者の属性情報、周遊行動、イベントや施策に対する評価を元にファネル分析や効果検証ができること。
- ケ 同じ期間で複数のスタンプラリーが同時に実施できること。

(13) ポイント付与機能

- ア 任意のポイントを利用者がLINE上で貯めることができること。また、ポイントの加算・減算は管理者が自由に設定できること。
- イ 貯めたポイントを使用し景品応募やクーポン引き換え等ができること。

(14) 抽選機能

- ア 利用者を対象に任意の条件で抽選が行えること。
- イ 抽選のタイミングは即時または後日での設定ができること。
- ウ 抽選方法は先着順または確率での設定ができること。
- エ 当選倍率はいつでも変更可能とすること。
- オ ノベルティなどの付与ができる機能を有すること。

(15) 分析機能

- ア 蓄積したデータを管理画面上で確認できる機能を有すること。
- イ 利用者の登録内容や流入経路で付与されたユーザーの属性情報をもとにシステム内でクロス分析ができること。
- ウ 利用者が自由入力した記載内容を蓄積できること。
- エ ボタン式チャットボットのタップ数を測定できること。
- オ リッチメニューのボタンタップ数を測定できること。
- カ URLのクリック率を測定できること。
- キ 管理者が過去の合計配信数、配信日、配信時間、タイトル、種別、配信数、配信内容などの配信結果を蓄積した各種データを管理画面上で確認できる機能を有すること。
- ク 特定の行動をした友だちの人数や移行率を分析してグラフ表示でファネル分析ができること。
- ケ 分析データは、CSV形式での一括ダウンロードができること。

(16) 管理機能

- ア 管理者用と一般職員用のログインIDを用意し、いずれのログインIDも費用発生なく、無制限に発行でき、管理者にて任意のタイミングで追加発行が可能であること。なお、一般職員用については、利用できる機能を制限できるようにすること。
- イ 部署毎又はアカウント毎に、利用できる機能の権限を設定できること。
- ウ 同じ管理者権限を利用し、複数端末にて同時ログインが可能であること。

7. 独自提案

- (4)～(16)以外の機能で、より効果的で利用者の利便性につながる機能の提案があれば提案上限額以内で提案すること。

8. 画像パーツの作成

- (1) リッチメニュー等に使用する画像パーツを作成（デザイン・レイアウト、イラスト、アイコン画像等）すること。
- (2) 作成した画像パーツをデータで納品すること。
- (3) デザインは、本町の承認を得て決定すること。

9. サポート体制

(1) スケジュール

- ア サービス開始までの作業スケジュールを本町に提示し、遅延なくシステム構築を完了させること。
- イ 契約締結後、速やかに本業務における作業スケジュール、作業項目、役割分担、実施体制等を記した実施計画書を作成し、本町に提出すること。

(2) 導入支援体制

- ア システム運用開始日までのシステム構築段階から、本町と定期的なミーティングを行うこと。オンライン開催時は、受託者がホストとなり行うこと。また、その際、受託者は協議内容を記録し、取りまとめた内容を電子データで本町に提出すること。
- イ 本町が提示する LINE 公式アカウントの活用イメージや要望をもとに、チャットボット等のシナリオやセグメント配信機能の受信設定に対して、全体の骨組みを提案し、構築すること。
- ウ 操作手順を整理した管理者及び一般職員向けマニュアル（システム操作マニュアル）を作成し、提供すること。なお、システム上でいつでも閲覧できる状態にすること。
- エ 本業務を遂行するにあたり、本町の庁内関係課に対して確認すべき事柄や説明すべき事項が生じた場合は、必要な資料の作成や説明・ヒアリング（オンライン利用可）等の支援を行うこと。
- オ 受託者は、システム運用開始日までに協議の上、管理者及び一般職員に対し、必要に応じた適切な回数説明及び操作研修をそれぞれ実施すること。また、研修時に必要となるシステムの操作環境及び資料は受託者が準備すること。

(3) 動作確認

- ア 動作検証開始前までに、本システムの基本動作（アンケート作成、リッチメニュー作成等）が正しく動作するよう設定のサポートを行うこと。
- イ 動作検証において、検証結果に応じた改善方法等を提案すること。

(4) 導入後支援体制

- ア 本町の情報発信やその他の発信内容の課題に応じて、効果的なコンテンツや登録者増加等の取組案について月1回程度の定期的なミーティングを行うこと。
- イ 受託者は簡易な設定や軽微な修正について、受託者で修正代行が可能な体制を整えること。
- ウ システム利用に関して生じる疑問等に関しては、定期的なミーティングを行うとともに、電話又は電子メール等による技術サポートを実施し、相談に応じること。
- エ 友だち登録状況や運用実績を分析し、課題解決に向けた提案や他の成功事例の紹介など、効果的な運用に向けて本町と定期的な協議を行い、アドバイザーとして本町のLINE運用効果向上のサポートを行うこと。
- オ 本町の求めに応じて、友だち数の増減、開封率、クリック率、チャットボットの利用率などのデータ分析を行うこと。
- カ 本町の求めに応じて、定期的に当アカウントに係る満足度調査を行い、調査後は速やかにレポートを提出すること。
- キ 導入以降も本町の提供するイベントや行事に沿った新たな活用提案や企画においても受託者は提携しながら運用支援サポートを行うこと。また、提案時についても、積極的に企画書に記載し、別途構築費用が必要な場合は明記すること。

10. セキュリティ要件

- ア インターネット上の通信について、SSL/TLS (TSL1.2以上)による暗号化通信を行い、改ざん等への防止対策を実施すること。
- イ サーバで保存するデータは、全て暗号化を行うこと。
- ウ サーバ等の環境設備は日本国内に設置し、善良な管理者の注意をもって、データを安全に管理すること。
- エ アクセスログや操作ログを取得し、一定期間保存すること。本町から要請があった場合は、それらのログを提供すること。
- オ 障害時の連絡体制や対応フロー等を定めること。
- カ 解約時にデータの削除を行うこと。
- キ ISMP (政府情報システムのためのセキュリティ評価制度)の承認を得ていること。
- ク ISMSを取得していること。
- ケ Pマークを取得していること。
- コ ISMSクラウドセキュリティ認証を取得していること。

1 1. 納品

(1) 提出先

大刀洗町役場地域振興課

(2) 納品物

以下のものを、データで納品すること。

成果品	納品時期
業務実施計画書	契約後
管理者及び一般職員向けマニュアル	システム操作研修会実施の 1週間前まで
デザインデータ一式	公開後14日以内
その他資料	必要に応じて

1 2. 検収

(1) 完了報告

受託者は、業務完了後、速やかに業務完了報告を行うこと。

(2) 検査の実施

本町は、納入日から14日以内に納品物の検査を行う。

(3) 不備の解消及び再検査

前項の検査の結果、不備が認められた場合、受託者は可能な限り速やかに不備を解消し、修正した成果物を再度納入すること。また、本町は再度納入された成果物を速やかに再検査を行う。

1 3. その他

(1) LINE ヤフー株式会社のシステム提供終了時に伴う対応

LINE ヤフー株式会社がシステムを終了し、またはシステムを大幅に仕様変更することにより、本業務に支障をきたす場合は、本町と協議の上、対策を講じること。

(2) 貸与品

ア 受託者が機器の設定等に必要な資料等は、本町がその都度貸与する。

イ 貸与品の管理保管は不測の事態が生じないよう適正に管理しなければならない。

(3) 秘密保護

ア 個人情報、秘密と指定した事項及び業務の履行に際し知り得た秘密

(以下「秘密情報」という。)を第三者に漏らす、または不当な目的で利用してはならない。契約終了後も同様とする。

イ 秘密情報を取り扱う責任者及び従事者は、秘密保持を誓約しなければならない。再委託先についても同様とする。

(4) 再委託

ア 本業務の委託契約部分に係る業務の全部または一部の処理を第三者に委託する場合、あらかじめ書面による再委託に係る本町の承認を得る必要がある。

イ 受託者は、再委託の行為については、全責任を負うこと。

(5) 本業務に係る成果品の引き渡し後1年間以内に発見された契約不適合については、受託者がその契約不適合の補修または補修する責を有する。

(6) 権利の帰属

ア 本システムに関して作成されたデータや画像等の著作権は、全て本町に帰属するものとする。

イ 業務の成果品等に、受託者が従前から保有する知的財産権（著作権、ノウハウ、アイデア、技術、情報等を含む）を含む場合は、権利は受託者に留保されるが、本町は、業務の成果品を利用するために必要な範囲において、これを無償で利用できるものとする。

ウ 業務の成果品等に受託者以外の第三者が保有する知的財産権が含まれる場合は、上記の定めによらないものとする。なお、第三者からの成果品に関し権利侵害に関する訴えが提起された場合は、受託者の責において解決するものとする。

(7) 本仕様書に定める事項に疑義が生じた場合または本仕様書に定めのない事項で協議する必要がある場合は、受託者は本町と協議を行うこと。

(8) 本仕様書に記載の事項について、その目的及び効果に関して優れた代替方法を発案したときは、その発案に基づき、本町と受託者により協議の上、仕様を変更することができる。

(9) 本事業を委託する事業者は、新しい地方経済・生活環境創生交付金デジタル実装型 TYPE1/V/S 制度に定める「スタートアップ」の要件を満たすこと。

《スタートアップ要件（参考）》

- ・ 未上場かつ創業から15年以内であること。
- ・ 申請時にプロダクト（サービス含む）を市場に提供しており、本交付金事業終了までに地域へのサービス実装が実現できること。
- ・ 『発行済株式の総数の1/2超を「対象外企業」に保有されている企業、又は発行済株式の総数の2/3以上を複数の「対象外企業」に保有されている企業』に該当しないこと。（※対象外企業：常時雇用する従業員数が500人以上の企業）